



## 平成27年度 総会の開催について



平成27年度土木学会関東支部茨城会の総会及び特別講演会が7月24日茨城県開発公社ビル大会議室で開催され、役員改選、昨年度事業報告及び決算報告、平成27年度事業計画及び予算計画等が報告・可決されました。役員改選では、副会長に澤田勝茨城県建設技術協会長(土木部総括技監)が新任されました。

さて、近年、日本のみならず世界各地で地震災害や風水害、土砂災害が頻発しており、安全安心かつ快適な社会形成を担う土木建設技術の革新と人材育成への社会的要請は益々大きくなっています。このような状況に鑑み、本茨城会では昨年同様、各種講演会やセミナーによる技術研修、現場見学会、橋梁分科会、土木遺産分科会、UAV応用活用研究分科会における調査研究などの事業を積極的に進めてまいります。皆様におかれましては、今後とも本会のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

土木学会関東支部茨城会会長 小柳武和(茨城大学名誉教授)

### 特別講演会

土木学会CPD認定プログラム2.0単位

\*詳細は当会ホームページ参照

#### 特別講演1 「最新の空間情報技術と建設関連分野での利用例」

講師 赤松 幸生氏 国際航業(株)調査研究開発部 部長

最新の空間情報技術である超小型衛星の高頻度観測、UAV(マルチ飛行体ドローン)による空撮応用技術、高分解能デジタル航空測量カメラ、航空レーザー測量システム、MMS(車載センシングシステム)が次世代の新技术として開発利用されつつある。

本講演では赤松講師の空間情報技術経験を解説、建設分野での利用事例が写真・動画により紹介されました。



#### 特別講演2 「社会経済情勢の変化と下水道の新たな使命」

講師 藤田 昌史先生 茨城大学工学部都市システム工学科 准教授

近年、人口減少・高齢化社会、財政・人材の制約、インフラの老朽化、異常な気候変動に伴う大規模災害の発生リスクの増大等に伴う社会経済的情勢が大きく変化している。さらに生きていく上で必要な『水・食料・エネルギー資源等』の供給に不安が拭えない状況にある。

このような状況を踏まえ、藤田先生の専門分野に求められる使命を解説、国や茨城県内の水問題の研究に関する取り組みを分かりやすく紹介されました。



### 建設フェスタ 2015

日時:平成27年11月8日(日) 9:00~15:30 『土木学会ブース』

会場:笠松運動公園 屋内水泳プール西側 特設会場

対象:どなたでも参加できます! \*小雨決行

- 小中学生と父兄の皆さんに楽しい企画を用意しています!
- 建設に関するいろいろな企画に参加し景品をゲットしよう!
- UAV飛行(マルチ無人機)、しなるコンクリート体験
- クイズラリー

### 第12回イブニングセミナー

#### 茨城県の海岸における津波・高潮対策について



講師:松浦 健郎氏  
"プロフィール"

土木部河川課 海岸担当係長  
平成6年4月茨城県土木部  
入庁後、長く海岸事業に携わっています

茨城県は約190kmの自然豊かな海岸線を有しています。しかし、一般の東日本大震災をはじめ、近年、海岸線を取り巻く状況は激化する台風などによる高潮・高波の発生、砂浜や崖の侵食の進行、堤防など既存施設の老朽化、気候変動による海面上昇など、年々被災リスクが高まっています。本講演では、現在、茨城県が取り組んでいる海岸事業について津波・高潮対策を中心に紹介されました。

### 平成27年度選奨土木遺産

#### 筑波山ケーブルカー(大正14年開業)



筑波山鋼索鉄道(株)提供写真

筑波山ケーブルカーは、大正14年10月に開業しました。霊山である筑波山にもっと多くの人に来てもらいたいと考えた地元実業家、高柳淳之助氏らの尽力により、大正12年に筑波山鋼索鉄道(株)を設立、工事が開始されました。施設の特徴は『全延長の1/3が90度に方向転換するカーブ区間であり全国的に希な存在である』。また、カーブ区間にある長峰トンネルは当時最新の工法である発破掘削、コンクリート覆工工法により施工された。

#### 小木津海岸(日立市) 東日本大震災復興事業 堤防嵩上げ工事 L=71.5m H27.3m 完成





<会長> 小柳武和(茨城大学名誉教授)  
<副会長2名> 澤田勝(茨城県建設技術協会会長・土木部総括技監)、方波見正(茨城県測量設計業協会会長)

個人正会員		会員数 (名)
大学G(24名)、国機関G(6名)、県関係自治体G(96名)、建設G(23名)、茨城コンサルタンツG(県内コンサル50名)、造園G(28名)、建設コンサルタンツG(県外コンサル6名)、都市計画G(5名)、測量G(66名)、地質調査G(25名)、鋼橋G(6名)、JR東日本水戸支社G(18名)、生コンG(3名)、その他個人会員(11名)		367
土木学会正会員G	筑波大学、茨城大学、早稲田大学、東洋大学、法政大学、日本大学、国土交通省(関東地方整備局・国土技術総合研究所)、土木研究所、産業技術総合研究所、JR東日本、水産総合研究センター、国立環境研究所、宇宙技術開発、NTT、都市再生機構、森林総合研究所、水資源機構、防災科学技術研究所、日本鋼構造協会、電源開発、日本建設情報総合センター、農業・食品産業技術総合研究機構、気象庁、農村工学研究所、日本原子力研究開発機構、電力中央研究所、東日本高速道路、下水道新技術推進機構、港湾空間高度化環境研究センター、奥村組、五洋建設、大林組、東電設計、間組、応用地質、清水建設	199
計	Gはグループを示します	566

### 賛助会員

茨城大学 工学部都市システム工学科 広域水圏環境科学研究センター 大学グループ	茨城県建設技術協会 自治体グループ	茨城県道路公社 自治体グループ	(一財)茨城県建設技術公社 自治体グループ	(一財)茨城県建設技術管理センター 自治体グループ
東日本旅客鉄道(株) 水戸支社 JRグループ	(一社)茨城県建設業協会 建設グループ	(一社)茨城県建設コンサルタンツ協会 茨城コンサルタンツグループ	国土建設コンサルタンツ(株) 茨城コンサルタンツグループ	(一社)茨城県造園建設業協会 造園グループ
(株)ミカミ 都市計画グループ	(株)都市計画センター 都市計画グループ	(一社)茨城県測量設計業協会 測量グループ	茨城県地質調査業協会 地質調査グループ	茨城県生コンクリート工業組合 生コンクリートグループ

#### ◆平成27年度事業計画

項目	事業	内容
総務部 総務部 総務部 総務部 総務部	総会・理事会特別講演会	平成27年7月24日(金) (公財)茨城県開発公社ビル (関連1面参照)
	講演会	第13回 建設技術講演会 11月開催予定
	イブニングセミナー	第2回イブニングセミナー 10月29日(木)18時より 三の丸庁舎大会議室 講師:澤島 守夫氏(調査研究部会長) 講師:小野寺淳氏(茨城大学 教育学部) ※年3回程度開催予定
	建設フェスタ2015	日時:平成27年11月8日(日)9:00~15:30 会場:笠松運動公園 屋内水泳プール西側 特設会場
	現地見学会	6月3日(水)「第5回 茨城の土木遺産を訪ねる」県北方面 10月29日(木)「見て歩き水戸城界隈」*イブニングセミナー同時開催 11月「土木の日」記念見学会 公共事業現場
	認定授与式	選奨土木遺産認定書・銘板 第13回建設技術講演会(11月開催予定)
広報部	名簿作成 ホームページ	・校正、資料収集/広報誌(会報編集) ・内容更新(行事案内/幹事会議事録/分科会活動報告/その他)
調査研究部	活動内容	1. 橋梁ヘルスマニタリング 2. 橋梁点検データベース・マニュアル 3. UAV応用研究 4. 選奨土木遺産(記憶遺産)の調査・選定推薦 各グループ及び参加希望者 随時受け付け

#### ◆編集独言◆

戦後70年、終戦後の昭和22年に私は生まれた。物心ついたとき、砂利の国道を走る保安隊(後の自衛隊)に仲間と敬礼した記憶が蘇った。道路は曲がりくねり路側の家屋の軒にバスが当たりそうになる箇所があちこち。車の大きさに合わせて道路が広げられたのが原因だ。

10歳の頃花室川南の6号国道バイパス工事が始まりトロコとツルハシ・スコップが目についている。舗装はコンクリート、トラックに載った生コンがスコップで掬われ餅網のような鉄筋の上に投げられ平に仕上げられた。この後ダンプカー、コンボ等近代的な機械が開発され日本の土木技術も合わせて向上した。鉄腕アトムが立体的な高架橋を飛び回る漫画に将来の夢を見ていた。父たちが基礎を創り私たちが築き上げた日本国土。

『安心して暮らせる豊かな国土をめざして』  
土木学会100年の宣言(2011.4.1)

1. 人類と生存の営みへの貢献
2. 人類と自然の共生への貢献
3. 土木の原点 総合性への回帰



『いばらき懐かしの映像』

QRコード楽々閲覧  
県がネットで  
全228本  
公開

#### ●正会員・賛助会員募集案内!

随時、メール・FAXで受け付中  
正会員は1,000円/人  
賛助会員は一口30,000円  
詳細はホームページでご確認願います。  
URL ; <http://www.jsce-ibaraki.com/>



公益社団法人  
土木学会関東支部茨城会  
(いばらき建設技術研究会)

事務局 〒310-0004 茨城県水戸市青柳町4195  
(一財)茨城県建設技術管理センター内  
TEL:029-227-5634 FAX:029-227-8558

スマホで楽々  
QRコード閲覧

